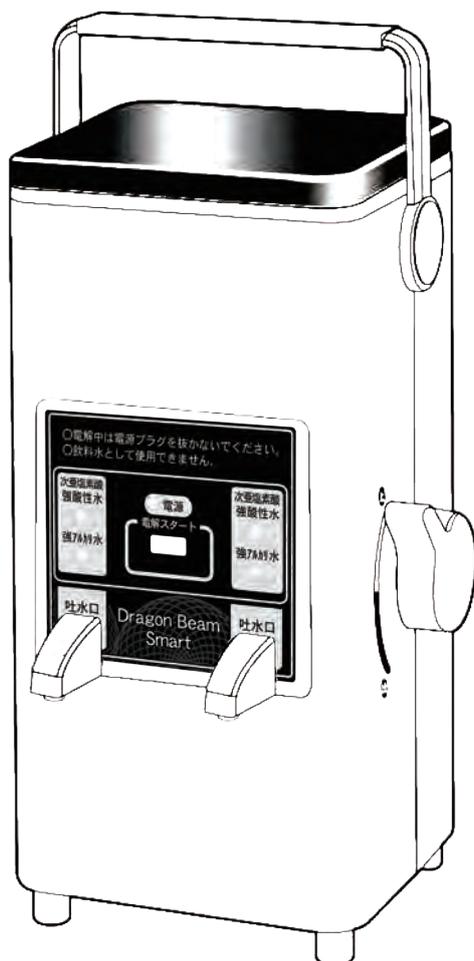


強電解水生成器

Dragon Beam Smart ST-100 ドラゴンビーム スマート

取扱説明書

この度は当社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品をご使用になる上で大切なことが記載されていますので、ご使用前に必ずお読みの上、正しくお使いください。



飲料用ではありません。

- 正しい使用をされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
- 本製品は医療機器ではありません。
- 生成された強電解水を洗剤、薬品等と混ぜて使用しないでください。

目 次

安全上のご注意	①②
各部の名称	③
付属品	③
強電解水の作り方	
食塩水の作り方	④
食塩水の入れ方	④
強電解水の生成	⑤
強電解水の採水	⑤
よう化カリウム澱粉紙の使い方	⑥
故障かなと思ったら	⑥
仕様	⑦

■安全上のご注意

(このページは必ずお読みください)

表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。その表示や意味を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



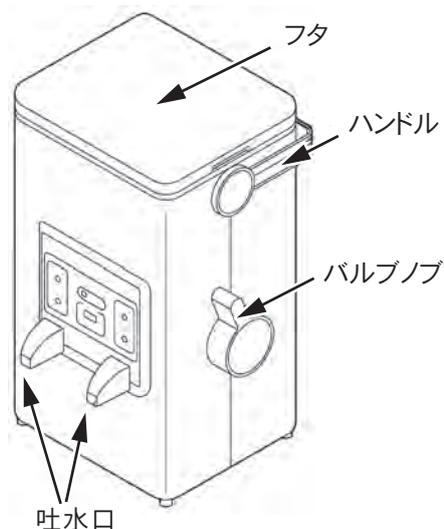
警告

- * 表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- * 本器は国内でご使用ください。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となることがあります。
- * 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となることがあります。
- * 電源コードが折れ曲がったり傷ついたりしないようにしてください。電源コードが破損し火災、感電の原因となります。
- * タコ足配線はおやめください。発熱し火災の原因となります。
- * 電源コードが傷んだまま使用したり、ガタついているコンセントでは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- * 本体を誤って水中に落としたときは、
 - 1) 電源プラグをコンセントから抜き、
 - 2) 本体を引き上げ、
 - 3) 販売店に修理を依頼してください。
- * 本器の改造、分解は絶対にしないでください。火災、感電の原因になります。その結果生じた事故については一切責任を負いません。
- * 浴室やシャワールームでの使用は絶対にしないでください。
- * 生成された電解水を使用して身体に異常を感じた時は、速やかに使用を中止して医師にご相談してください。
- * 故障した場合には、必ず販売店に修理を依頼してください。ご自身での修理は絶対にしないでください。

注意

- * 本器に使用する水は水道水を基準としています。不適な水を使用すると、故障の原因となることがあります。次のような水は使用しないでください。井戸水、濁りのひどい水、硬度の高い水、塩分の多い水、赤さびの多い水、汲み置きの水、その他水道基準以外の不適な水。
- * 次のような場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。火気を使用しているところ、直射日光が当たるところ、凍結の恐れがあるところ、湿気やほこりの多いところ、水のかかるところ、腐食性ガスの発生するところ。
- * 本体が水平な位置になるように設置してください。グラついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりする原因になることがあります。
- * 電解中は電源プラグを抜かないでください。万が一停電等で電解中に電源が切れた場合は本体内部の水を捨て、新たに食塩水を作り、最初から電解をやり直してください。
- * 30℃以上の温水は使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- * 水の出口を塞がないでください。故障の原因となることがあります。
- * 水の出口をホースなどで延長しないでください。故障の原因となることがあります。
- * 本器の上に物を置かないでください。故障または事故の原因となることがあります。
- * 本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- * 本器に水をかけないでください。故障の原因となることがあります。
- * 電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張るとコードが傷み火災、感電の原因となることがあります。
- * お子さまの手の届かないところでご使用ください。
- * 寒冷地でご使用の場合は、本体内が凍結しないように水を抜き取り、室温でご使用ください。
- * 急に寒い場所から暖かい場所に移動しないでください。本体内で結露が発生し、故障の原因となります。
- * 金魚や熱帯魚など魚類の飼育水として使用しないでください。環境が変わり死ぬことがあります。
- * アルカリに弱いアルミ製容器や酸に弱い銅製容器などは使用しないでください。また酸やアルカリに弱いプラスチックなども使用しないでください。

●本体各部の名称



●表示パネル各部の名称と働き

電源ランプ

電源プラグをコンセントに差し込むと点灯します。



電解スイッチ

強電解水の生成時に押します。

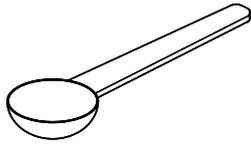
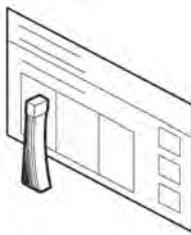
強酸性水表示ランプ(両側)

強酸性水生成時に赤く点滅し生成完了時に点灯します。

強アルカリ水表示ランプ(両側)

強アルカリ水生成時に緑色に点滅し生成完了時に点灯します。

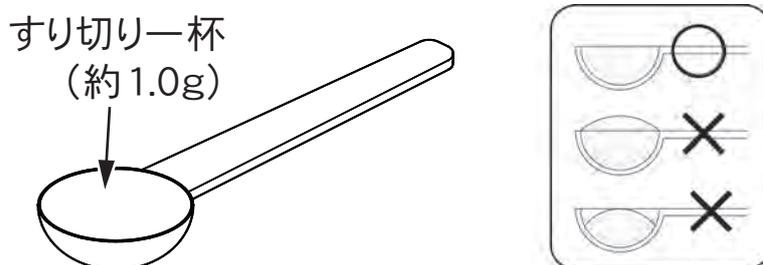
●付属品

容器×2個	計量スプーン×1本	よう化カリウム 澱粉紙	強アルカリ水 保存ラベル	強酸性水 保存ラベル
				
(赤、緑各1個 フタ付き)	(すり切りで約1.0g)	(1冊20枚 比色表付き)	(5枚)	(5枚)

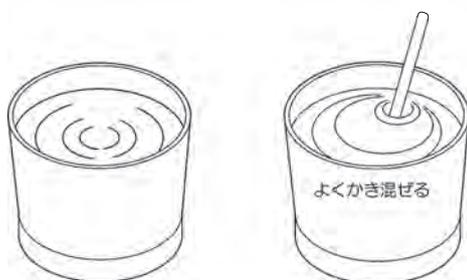
■強電解水の作り方

●食塩水の作り方

1. 塩計量スプーンに食塩をすり切り一杯入れます。



2. 容器の内側のラインまで水を入れ(0.7リットル)、食塩を入れてよくかき混ぜます。これを2杯用意します。(赤、緑)



⚠ 注意

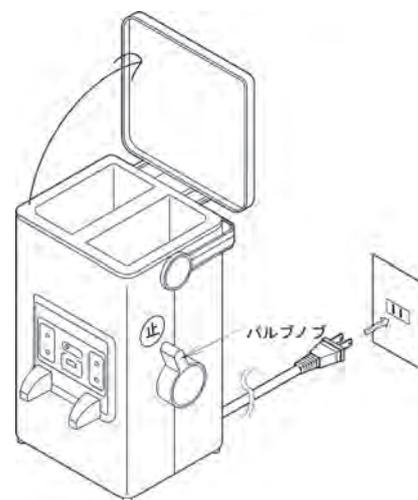
1. 食塩は塩化ナトリウム99%以上のものをご使用ください。
粗塩や調味塩などは使わないでください。
2. 容器一杯につき、塩計量スプーン一杯です。

食塩量(※各容器に)	有効塩素濃度(ppm)	pH
スプーン1杯(約1.0g)	酸性側 約30~40ppm	酸性側 約2.3
スプーン1.5杯(約1.5g)	酸性側 約80~95ppm	酸性側 約2.1
スプーン2杯(約2.0g)	酸性側 約105~125ppm	酸性側 約2.0

※上記は納品時での推定値となります。

●食塩水の入れ方

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
本体の電源ランプが点灯します。
2. バルブノブを「止」の位置にしてください。
バルブノブが「出」の位置では食塩水が吐水口から出てしまいます。
3. 本体のフタを開けて、準備した食塩水を左右の槽に入れます。
4. フタを閉めます。



● 強電解水の生成

1. 電解スイッチを押します。

表示ランプ(片側が「赤」片側が「緑」)の点滅が始まり強電解水の生成が行われます。

※電解中は電源プラグを抜かないでください。また停電等で電源が切れた場合はいったん槽内の電解水を捨て最初からやり直してください。

※電解中はバルブノブを動かさないでください。強電解水の性能が得られないことがあります。

※電解中に誤ってバルブノブを動かすと電解が終了してしまう場合があります。その場合は、いったん排水し、食塩水を作り直し最初からやり直してください。

2. 生成が完了すると表示ランプが点灯に変わります。

強酸性水吐水側が「赤」、強アルカリ水吐水側が「緑」に点灯します。



⚠ 注意

※電解中はフタを開けないでください。
※電解中は換気を充分行ってください。

● 強電解水の採水

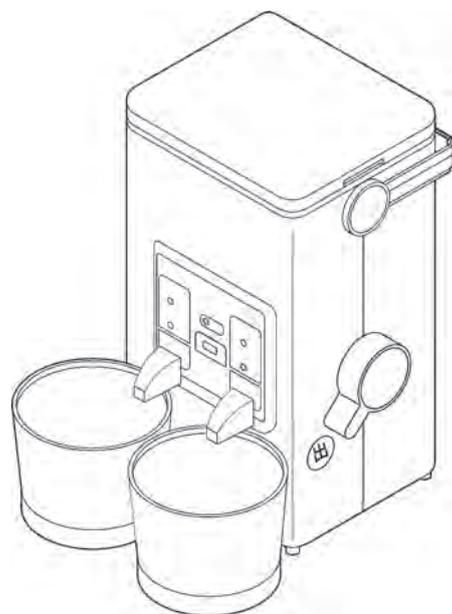
1. 生成が完了したら強電解水保存容器を吐水口の下に置きバルブノブを「出」の位置にし水を取り出してください。

緑ランプ点灯側に強アルカリ水、赤ランプ側に強酸性水ができていますので容器の色を合わせて採水してください。

※生成1回毎にランプが変わります。(吐水口から出てくる水が生成1回毎に変わります。)

容器を置く際は注意してください。

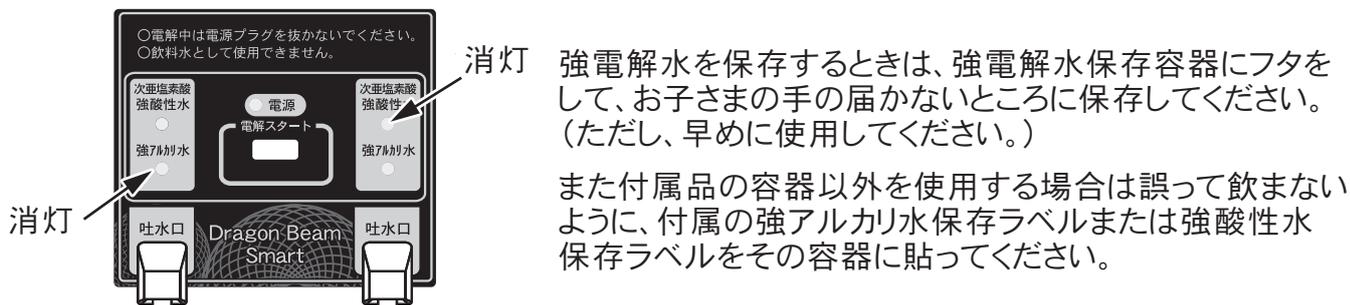
強電解水はすぐに本体から全部出してください。



2. 完全に強電解水が抜け表示ランプが消えたらバルブノブを「止」の位置に戻してください。

表示ランプが消える前にバルブノブを「止」の位置に戻した場合は、再び「出」の位置にして強電解ランプが消灯するまでお待ちください。

強電解ランプが消える前にバルブノブを「止」の位置に戻した場合、続けてご使用するとき電解スイッチがONになりません。



●よう化カリウム澱粉紙の使い方

各ご家庭の水質やその他、様々な条件の違いにより、適正な強電解水が得られない場合があります。付属のよう化カリウム澱粉紙でご確認ください。

<p>1.よう化カリウム澱粉紙を1枚破り取る</p> 	<p>2.容器に採った強酸性水につける</p> <p style="text-align: center;">強酸性電解水</p>  <p>注) 判定は、変色したあとすぐに行ってください</p>	<p>3.判定する 適正な色が出なかった場合は下記の処置を行ってください</p> <ul style="list-style-type: none"> ●薄い場合 食塩を少し追加して、濃度を濃くした新しい液をつくり、電解してください ●濃い場合 食塩を少し減らして、濃度を薄くした新しい液をつくり、電解してください 	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">比色表</th> <th colspan="2">食塩水</th> </tr> <tr> <th>スプーン1杯</th> <th>スプーン2杯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>薄い</td> <td>薄い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>適正</td> <td>薄い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>濃い</td> <td>適正</td> </tr> </tbody> </table> <p>●適正な色が出た強酸性水はそのまま使えます。</p>	比色表	食塩水		スプーン1杯	スプーン2杯		薄い	薄い		適正	薄い		濃い	適正
比色表	食塩水																
	スプーン1杯	スプーン2杯															
	薄い	薄い															
	適正	薄い															
	濃い	適正															

- ①色が変わるが薄い場合。
食塩水がうすいためです、食塩を少し増やして食塩水を作り生成して適正となる様にしてください。
- ②色が紫色に変わる場合。
適正な電解です。
- ③色が変わるが黒っぽい。
食塩水が濃いためです、食塩を少し減らして食塩水を作り生成して適正となる様にしてください。

※強電解試験紙は変色直後の色と比較してください、時間が経つと色が変わってしまいます。

●故障かなと思ったら

症状	原因	対処
電源ランプが点灯しない。	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差ししてください。
	本体内部ヒューズ切れ。	再度スイッチを押してください。改善されない場合は販売店に連絡してください。
電源スイッチを押しても表示ランプが点滅しない。	電解スイッチが入っていない。	電源ランプが点灯しない。
	前回使用時に「表示ランプ」が消灯する前にバルブノブを「止」の位置にしてしまった。	いったんバルブノブを「出」の位置に戻して「表示ランプ」が消えるまで待ってから「止」へバルブノブを戻し、作り直してください。
強酸性水をよう化カリウム澱粉紙で測定しても色の変化が少ない。	食塩水が薄い。	食塩を少し増やして食塩水を作り電解をしてください。
強酸性水をよう化カリウム澱粉紙で測定すると色が黒っぽく変化する。	食塩水が濃い。	食塩を少し減らした食塩水を作り電解をしてください。
強酸性水表示ランプ(赤)が左右とも点滅している。	電解槽(電気分解している槽)に電流が流れ過ぎている。	食塩を少し減らした食塩水を作り電解をしてください。症状が改善されない場合は販売店に連絡してください。
強アルカリ水表示ランプ(緑)が左右とも点滅している。		一度電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度コンセントに差し込んでください。症状が改善されない場合は販売店に連絡してください。

●仕様

品名	強電解水生成器
名称	Dragon Beam Smart (ドラゴンビーム スマート)
型番	ST-100
外形寸法	高さ305mm×幅167mm×奥行180mm
本体重量	約2kg
定格電圧・周波数	AC100V 50/60Hz
定格電流	0.6A
総販売	株式会社 エヌ・アイ・シー
使用周囲温度	10～40℃(凍結不可)
使用相対湿度	0～85%RH
給水水質	上水道水使用を原則とする(井戸水の場合は要水質調査)
給水水温	0～30℃
電解方法	バッチ式隔膜電解方式
電解時間	約17分
電解洗浄	使用毎の極性反転
処理水量	1.4ℓ(強酸性水0.7ℓ・強アルカリ0.7ℓ)
消耗品	食塩、よう化カリウム澱粉紙

*仕様、外観等は製品改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●食塩量と推定塩素濃度(酸化還元電位+1,100mV以上)

食塩量(※各容器に)	有効塩素濃度(ppm)	pH
スプーン1杯(約1.0g)	酸性側 約30～40ppm	酸性側 約2.3
スプーン1.5杯(約1.5g)	酸性側 約80～95ppm	酸性側 約2.1
スプーン2杯(約2.0g)	酸性側 約105～125ppm	酸性側 約2.0

※上記は納品時での推定値となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。

総販売元

NiG 株式会社エヌ・アイ・シー

〒213-0031 川崎市高津区宇奈根 779-4

TEL : 044-829-5573 FAX : 044-813-5877